

安心の入院を支える取り組み 認知・生活機能のチェック(DASC-8)

舞鶴医療センターでは、2025年8月から入院される65歳以上の患者様・ご家族様に「認知・生活機能質問票(DASC-8)」の記入をお願いしています。

この質問票は、病気の診断ではなく、

- 記憶の状態や日常の動き
- 入院中にどんなサポートが必要か

を確認するためのものです。



なぜ必要なのか？

- 安全な入院生活のため
認知機能や生活機能の状態を把握することで、転倒や服薬ミスなどのリスクを減らします。
- 個別ケアのため
お一人おひとりに合わせた看護やリハビリを早めに検討できます。
- 不安軽減のため
困りごとや心配ごとを早めに把握し、安心して治療に専念できるようサポートします。
- 退院後の生活支援にもつながる
必要な介護サービスやサポートを早めに検討できます。



認知・生活機能質問票 (DASC-8)

Assessment Sheet for Cognition and Daily Function-8 Items (i.e. the Dementia Assessment Sheet for Community-based Integrated Care System-8 Items)
(© 日本老年医学会 2018)

ご本人の氏名：		生年月日： 年 月 日 (歳)	男・女	独居・同居
本人以外の情報提供者氏名： (本人との続柄：)		記入者氏名： (職種：)		
A	1.もの忘れが多いと感じますか	1.感じない 2.少し感じる 3.感じる 4.とても感じる	評価項目	備考欄
B	1年と比べて、もの忘れが増えたと感じますか	1.感じない 2.少し感じる 3.感じる 4.とても感じる	導入の質問 (評価せず)	
1	財布や鍵など、物を置いた場所がわからなくなることがありますか	1.まったくない 2.ときどきある 3.頻繁にある 4.いつもそうだ	記憶	近時記憶
2	今日が何月何日かわからないときがありますか	1.まったくない 2.ときどきある 3.頻繁にある 4.いつもそうだ	見当識	時間
3	一人で買い物はできますか	1.問題なくできる 2.だいたいできる 3.あまりできない 4.まったくできない		買い物
4	バスや電車、自家用車などを使って一人で外出できますか	1.問題なくできる 2.だいたいできる 3.あまりできない 4.まったくできない	手段的 ADL	交通機関
5	貯金の出し入れや、家計や公共料金の支払いは一人でできますか	1.だいたいできる 2.問題なくできる 3.あまりできない 4.まったくできない		金銭管理
6	トイレは一人でできますか	1.問題なくできる 2.見守りや声かけを要する 3.一部介助を要する 4.全介助をする	基礎的 ADL	排泄
7	食事は一人でできますか	1.問題なくできる 2.見守りや声かけを要する 3.一部介助を要する 4.全介助をする		食事
8	家のなかでの移動は一人でできますか	1.問題なくできる 2.見守りや声かけを要する 3.一部介助を要する 4.全介助をする		移動

DASC-8：(1～8項目まで) の合計点

点 / 32点

参考：高齢者糖尿病の血糖コントロール目標(HbA1c)におけるカテゴリー分類とDASC-8の合計点の関係
カテゴリーI（認知機能正常かつADL自立）： 10点以下
カテゴリーII（軽度認知障害／軽度認知症または手段的ADL低下、基礎的ADL自立）： 11-16点
カテゴリーIII（中等度以上の認知症または基本的ADL低下または多くの併存疾患や機能障害）： 17点以上
本ツールはスクリーニングツールのため、実際のカテゴリー分類には個別評価が必要

質問紙の特徴

- 質問は8項目、所要時間は約5分
- ご本人またはご家族が答えられます。
- ご記入内容は個人情報として厳重に管理し、看護ケアにのみ使用します。